

学校コード F143310111317

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

崇城大学 生物生命学部 生物生命学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人君が淵学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	法人課
職名・氏名	ホウジツカチョウ ヤマガタ ショウザン 法人課長 山形 象山
電話番号 (夜間)	096-326-3441
e-mail	hojin@ofc.soyo-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

生物生命学部

＜生物生命学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	45
7. その他全般的事項	46

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人君が淵学園

(2) 大学名

崇城大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒860-0082

熊本県熊本市西区池田4丁目22番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナカヤマ ミネオ) 中山 峰男 (平成15年12月)		
学長	(ナカヤマ ミネオ) 中山 峰男 (平成15年12月)		
学部長	(タケヤ ヒロユキ) 武谷 浩之 (令和2年4月)		
学科長等	(エキノ ケイスケ) 浴野 圭輔 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
生物生命学部 生物生命学科 学士(工学)	工学関係	4年	150人	2年次 3年次 4年次 人 人 人	600人		<基礎となる学部等> 生物生命学部 応用微生物工学科 応用生命科学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考					
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期										
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.13 倍	1 倍	1.12 倍	1 倍						
志願者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	803						703	()	()	()	()
受験者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	797						697	()	()	()	()
合格者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	600						516	()	()	()	()
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	179						163	()	()	()	()
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.19	1.09									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	179 [2] (—)	— [—] (—)	175 [3] (—)	— [—] (—)	
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	162 [2] (12)	— [—] (—)	
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	179 [2] (—)	— [—] (—)	337 [5] (12)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	179 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	337 人	5 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	5 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		5 人		5 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{179} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{337} = \boxed{1.48} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<生物生命学部 生物生命学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次教育	SOJOセミナー	1前	1								6	
	SOJO基礎 I	1前	2								6	
	SOJO基礎 II	1後	2								6	
	情報処理基礎	1前	2								1	
	小計 (4科目)	—	7	0	0	0	0	0	0	0	9	
	キャリア教育	アントレプレナーシップ入門	1前	2								2
		ベンチャービジネス	1後	2								2
		イノベーション入門	2前	2								2
		ローカルイノベーション	2後	2								2
		キャリアブレコオプ	2	2								2
インターンシップ I		3前	1								1	
インターンシップ II		3後	1								1	
キャリアプロジェクト		3前	1								1	
キャリアセミナー		3後	1								1	
小計 (9科目)		—	0	14	0	0	0	0	0	0	4	
基礎教育課程	人間と科学・外国語教育	科学技術者倫理	3後	2							1	
		1後・2									1	
		日本語表現	1後・2	2								1
		日本の文学	1後・2	2								1
		人間と心理	1後・2	2								1
		人間と哲学	1後・2	2								1
		人間と歴史	1後・2	2								1
		人間と環境	1後・2	2								1
		現代の社会と法	1後・2	2								1
		現代の社会と政治	1後・2	2								1
		現代の社会と経済	1後・2	2								1
		アートとデザイン	1後・2	2								14
		日本国憲法	3前	2								1
		英語圏の文化と社会	1後・2	2								2
		中国語圏の文化と社会	1後・2	2								1
		韓国語圏の文化と社会	1後・2	2								1
		ドイツ語圏の文化と社会	1後・2	2								1
		フランス語圏の文化と社会	1後・2	2								1
		中国語	2後	2								1
		韓国語	2後	2								1
		ドイツ語	2後	2								1
		フランス語	2後	2								1
		健康スポーツ教育 I	1前	1								4
		健康スポーツ教育 II	1後	1								4
		健康科学概論	1後・2	2								1
健康スポーツ実習	2	1								1		
小計 (25科目)	—	4	43	0	0	0	0	0	0	34		
数理基礎教育	バイオ・化学系の基礎数理 I	1前	3								5	
	バイオ・化学系の基礎数理 II	1後	3								5	
	バイオ・化学系の数理 I	2前	2								1	
	バイオ・化学系の数理 II	2後	2								2	
	基礎物理学	1前	2								3	
	物理学	1後	2								3	
	物理学実験	2前	2								3	
	小計 (7科目)	—	3	13	0	0	0	0	0	0	10	
英語・日本語基礎教育	イングリッシュコミュニケーションⅠ	1前	2								7	
	イングリッシュコミュニケーションⅡ	1後	2								7	
	イングリッシュコミュニケーションⅢ	2前	2								7	
	イングリッシュコミュニケーションⅣ	2後	2								7	
	英語留学研修	1	2								1	
	TOEIC演習	1後・2	2								1	
	アカデミック英語	3	2								1	
	小計 (7科目)	—	8	6	0	0	0	0	0	0	7	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次教育	SOJOセミナー	1前	1								9	
	SOJO基礎 I	1前	2								3	
	SOJO基礎 II	1後	2								3	
	情報処理基礎	1前	2								3	
	小計 (4科目)	—	7	0	0	0	0	0	0	0	12	
キャリア教育	アントレプレナーシップ入門	1前	2								1	
	ベンチャービジネス	1後	2								1	
	イノベーション入門	2前	2								1	
	ローカルイノベーション	2後	2								1	
	キャリアブレコオプ	2	2								2	
	インターンシップ I	3前	1								1	
	インターンシップ II	3後	1								1	
	キャリアプロジェクト	3前	1								1	
	キャリアセミナー	3後	1								1	
	小計 (9科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	4	
基礎教育課程	人間と科学・外国語教育	科学技術者倫理	3後	2							1	
		1後・2									1	
		日本語表現	1後・2	2								1
		日本の文学	1後・2	2								1
		人間と心理	1後・2	2								1
		人間と哲学	1後・2	2								1
		人間と歴史	1後・2	2								1
		人間と環境	1後・2	2								1
		現代の社会と法	1後・2	2								1
		現代の社会と政治	1後・2	2								1
		現代の社会と経済	1後・2	2								1
		アートとデザイン	1後・2	2								9
		日本国憲法	3前	2								1
		英語圏の文化と社会	1後・2	2								2
		中国語圏の文化と社会	1後・2	2								1
		韓国語圏の文化と社会	1後・2	2								1
		ドイツ語圏の文化と社会 (未開講)	1後・2	2								0
		フランス語圏の文化と社会	1後・2	2								1
		中国語	2後	2								1
		韓国語	2後	2								1
		ドイツ語 (未開講)	2後	2								0
		フランス語	2後	2								1
		健康スポーツ教育 I	1前	1								4
		健康スポーツ教育 II	1後	1								4
		健康科学概論	1後・2	2								1
健康スポーツ実習	2	1								1		
小計 (25科目)	—	4	43	0	0	0	0	0	0	29		
数理基礎教育	バイオ・化学系の基礎数理 I	1前	3								5	
	バイオ・化学系の基礎数理 II	1後	3								5	
	バイオ・化学系の数理 I	2前	2								3	
	バイオ・化学系の数理 II	2後	2								2	
	基礎物理学	1前	2								3	
	物理学	1後	2								3	
	物理学実験	2前	2								3	
	小計 (7科目)	—	3	13	0	0	0	0	0	0	11	
英語・日本語基礎教育	イングリッシュコミュニケーションⅠ	1前	2								6	
	イングリッシュコミュニケーションⅡ	1後	2								6	
	イングリッシュコミュニケーションⅢ	2前	2								6	
	イングリッシュコミュニケーションⅣ	2後	2								6	
	英語留学研修	1	2								1	
	TOEIC演習	1後・2	2								1	
	アカデミック英語	3	2								1	
	小計 (7科目)	—	8	6	0	0	0	0	0	0	13	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育課程	日本語 英語・日本語基礎教育	基礎日本語Ⅰ	1前	2								2
		基礎日本語Ⅱ	1後	2								2
		基礎日本語Ⅲ	2前	2								2
		基礎日本語Ⅳ	2後	2								2
	小計(4科目)	—	8	0	0	0	0	0	0	0	0	3
共通	特殊講座	☆		2								1
	小計(1科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
専門教育課程	専門共通	化学Ⅰ	1前	2			1	1		1		
		化学Ⅱ	1前	2			1	1		1		
		発酵食品学	1前	2			1					
		食品生体機能学	1前	2			1					
		自然共生人類学	1前	2				1				
		医療福祉工学	1前	2								1
		生物生命学セミナー	1前	1			14	9		1		
		生物学	1前	2			2	1				
		分析化学	1後	2			1	1				
		生化学Ⅰ	1後	2			3					
		有機化学	1後	4			1	2				
		酵素学	2前	2			1					
		細胞生物学	2前	2			1					
		分析化学実験	2前	2				2				
		生化学Ⅱ	2前	2			1					
		一般生理学	2前	2			1					
		一般解剖学	2前	2			1					
		生命科学基礎実験	2前	2			8	4		1		
		生物物理化学	2後	2			1	1				
		医学基礎	2後	2			1					
		環境工学概論	2後	2				1				
		発酵化学	3前	2			1					
		食品保蔵学	3前	2								1
		発酵工業機器論	3前	2								1
		工場管理法	3前	2								1
		専門英語Ⅰ	3前	2			2	4				
		醸造学	3後	2			1					
		分子遺伝学	3後	2			1					
		情報処理技術	3後	2			4	4				
		食品関係法規	3後	1								1
		専門英語Ⅱ	3後	2			4	2				
		薬学基礎	3前	2			1					
		特別講義	3前	1			1					
		ゼミナール	4通	2			14	9		1		
		卒業研究	4通	10			14	9		1		
小計(35科目)	—	27	50	0	14	9	0	1	0	0	5	
生物機能科学	応用微生物学Ⅰ	2前	2		1							
	応用微生物学実験	2前	4		2							
	応用微生物学Ⅱ	2後	2		1							
	微生物利用学	3後	2		1							
小計(4科目)	—	0	10	0	2	0	0	0	0	0	0	
分子生命科学	分子生命化学Ⅰ	2前	2		1	1						
	分子生命化学Ⅱ	2後	2		1	1						
	分子生命化学実験	2後	2		1							
	蛋白質工学	3前	2		1							
小計(4科目)	—	0	8	0	1	1	0	0	0	0	0	
食品生物科学	食品生物科学	2前	2		1							
	栄養生理学	3前	2		1							
	食品生物科学実験	3前	2		2							
	食品分析学	3後	2		1							
小計(4科目)	—	0	8	0	2	2	0	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教育課程	日本語 英語・日本語基礎教育	基礎日本語Ⅰ	1前	2								1	
		基礎日本語Ⅱ	1後	2								1	
		基礎日本語Ⅲ	2前	2								1	
		基礎日本語Ⅳ	2後	2								1	
		小計(4科目)	—	8	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	共通	特殊講座 (デグラフィエンス入門)			2								3
		特殊講座 (音楽デザイン)			1								1
	特殊講座 (異分野融合イノベーション)			2								4	
	特殊講座 (情報と社会)			2								1	
	特殊講座 (情報コミュニケーション)			2								1	
	特殊講座 (ITサポート)			2								1	
小計(6科目)	—	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
専門教育課程	専門共通	化学Ⅰ	1前	2			1	2		0			
		化学Ⅱ	1前	2			2	1		0			
		発酵食品学	1前	2			1						
		食品生体機能学	1後	2			1						
		自然共生人類学	1前	2				1					
		医療福祉工学	1前	2								9	
		生物生命学セミナー	1前	1			18	9		2			
		生物学	1前	2			1	1		1			
		分析化学	1後	2			1	1		1			
		生化学Ⅰ	1後	2			1	1					
		有機化学	1後	4			2	1					
		酵素学	2前	2			1						
		細胞生物学	2前	2			0			1			
		分析化学実験	3前	2			1	1					
		生化学Ⅱ	2前	2			1						
		一般生理学	2前	2			1						
		一般解剖学	2後	2			0	1					
		生命科学基礎実験	2前	2			8	6		1			
		生物物理化学	2後	2			1	1					
		医学基礎	2後	2			1						
		環境工学概論	2後	2				1					
		発酵化学	3前	2			1						
		食品保蔵学	3前	2								1	
		発酵工業機器論	3前	2								1	
		工場管理法	3前	2								1	
		専門英語Ⅰ	3前	2			5	1					
		醸造学	3後	2			1						
		分子遺伝学	3後	2			1						
		情報処理技術	3後	2			7	1					
		食品関係法規	3後	1								1	
		専門英語Ⅱ	3後	2			5	1					
		薬学基礎	3前	2			1						
		特別講義	3前	1			1						
		ゼミナール	4通	2			17	7		0			
		卒業研究	4通	10			17	7		0			
小計(35科目)	—	27	50	0	18	9	0	2	0	0	13		
生物機能科学	応用微生物学Ⅰ	2前	2		1								
	応用微生物学実験	2前	4		1	1							
	応用微生物学Ⅱ	2後	2		1								
	微生物利用学	3後	2		1								
小計(4科目)	—	0	10	0	2	1	0	0	0	0	0		
分子生命科学	分子生命化学Ⅰ	2前	2		1	0							
	分子生命化学Ⅱ	2後	2		1	0							
	分子生命化学実験	2後	2		2	0							
	蛋白質工学	3前	2		1	0							
小計(4科目)	—	0	8	0	2	0	0	0	0	0	0		
食品生物科学	食品生物科学	2後	2		1								
	栄養生理学	3前	2		1	0							
	食品生物科学実験	3前	2		2								
	食品分析学	3後	2		1								
小計(4科目)	—	0	8	0	3	1	0	0	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育課程	環境生物学	生物資源環境工学	2前	2		1						
		環境保全工学	2後	2		1						
		生物資源環境工学実験	3前	2		1	1					
		生物反応工学	3後	2		1						
		小計(4科目)	—	0	8	0	1	1	0	0	0	0
	微生物遺伝学	応用分子生物学	2前	2		1						
		微生物遺伝学	2後	2		1						
		遺伝子工学	2後	2		1						
		微生物遺伝学実験	2後	2		1	1					
		小計(4科目)	—	0	8	0	1	1	0	0	0	0
	生命情報科学	分子生物学	2前	2		1						
		生命情報科学実験	2前	2		2	1					
		遺伝子科学	2後	2		1						
		生体情報学	3前	2		1						
		生理活性物質	3後	2		1						
		生体システム論	3後	2		1						
		小計(6科目)	—	0	12	0	2	1	0	0	0	0
	医用生体工学	生体高分子科学	2前	2		1						
		医用工学	2後	2		1					1	
		医用生体工学実験	2後	2		3	1					
		医薬材料学	3前	2		2						
		小計(4科目)	—	0	8	0	3	1	0	0	0	1
	細胞工学	細胞培養工学	2前	2		1						
		細胞工学	3前	2		1						
細胞機能学		3前	2		1							
細胞工学実験		3前	2		2			1				
代謝工学		3後	2		1							
小計(5科目)		—	0	10	0	2	0	0	1	0	0	
生命環境科学	環境生態学	2前	2		1	1						
	生命環境論	2前	2		1	1						
	生命環境科学実験	2後	2		1	2						
	蛋白質科学	3前	2		1	1						
	環境化学	3後	2		1	1						
小計(5科目)	—	0	10	0	1	2	0	0	0	0		
プロジェクト	バイオテクノロジー総論Ⅰ	3後	2		3	2						
	バイオテクノロジー総論Ⅱ	3後	2		3	3						
	生命科学実践研究	3前	2		8	4		1				
	生命科学実践演習	3後	1		8	4		1				
	小計(4科目)	—	0	7	0	14	9	0	1	0	0	
教職課程	教育原論	1後			2						1	
	教職概論	1前			2						1	
	教育制度論	1後			2						1	
	教育心理学	3前			2						1	
	特別支援教育論	2前			1						1	
	教育課程論	3前			1						1	
	道徳教育指導論	3前			2						1	
	総合的な学習の時間の指導法	2前			2						1	
	特別活動論	3前			1						1	
	教育方法論	3後			2						1	
	進路指導・生徒指導論	2前			2						1	
	教育相談の理論と方法	2前			2						1	
	事前・事後指導	3後~4前			1						2	
	教育実習Ⅰ	4前			2						2	
	教育実習Ⅱ	4前			2						2	
	教職実践演習	4後			2						4	
	理科教育法Ⅰ	2後			2						1	
	理科教育法Ⅱ	3前			2						2	
	理科教育法Ⅲ	2後			2						1	
	理科教育法Ⅳ	3前			2						2	
	地学	2後			2						2	
	地学実験	3前			2						2	
小計(22科目)	—	0	0	40	0	0	0	0	0	11		
合計(158科目)	—	57	217	40	14	9	0	1	0	70		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育課程	環境生物学	生物資源環境工学	2前	2		1						
		環境保全工学	2後	2		1						
		生物資源環境工学実験	3前	2		1	1					
		生物反応工学	3後	2		1						
		小計(4科目)	—	0	8	0	1	1	0	0	0	0
	微生物遺伝学	応用分子生物学	2前	2		1	0					
		微生物遺伝学	2後	2		1						
		遺伝子工学	2後	2		1	0					
		微生物遺伝学実験	2後	2		2	0					
		小計(4科目)	—	0	8	0	2	0	0	0	0	0
	生命情報科学	分子生物学	2前	2		1						
		生命情報科学実験	2前	2		2	2					
		遺伝子科学	2後	2		1						
		生体情報学	3前	2		1			1			
		生理活性物質	3後	2		1						
		生体システム論	3後	2		1						
		小計(6科目)	—	0	12	0	2	2	0	0	0	0
	医用生体工学	生体高分子科学	2前	2		1						
		医用工学	2後	2		1						1
		医用生体工学実験	2後	2		3	1			1		
		医薬材料学	3前	2		2						
		小計(4科目)	—	0	8	0	3	1	0	1	0	1
	細胞工学	細胞培養工学	2前	2		1						
		細胞工学	3前	2		1						
細胞機能学		3前	2		1							
細胞工学実験		3前	2		2		1		0			
代謝工学		3後	2		1							
小計(5科目)		—	0	10	0	2	1	0	0	0	0	
生命環境科学	環境生態学	2前	2		1	1						
	生命環境論	2前	2		1	1						
	生命環境科学実験	2後	2		1	2						
	蛋白質科学	3前	2		1	1						
	環境化学	3後	2		1	1						
小計(5科目)	—	0	10	0	1	2	0	0	0	0		
プロジェクト	バイオテクノロジー総論Ⅰ	3後	2		5	0						
	バイオテクノロジー総論Ⅱ	3後	2		4	2						
	生命科学実践研究	3前	2		8	5		0				
	生命科学実践演習	3後	1		8	5		0				
	小計(4科目)	—	0	7	0	17	7	0	0	0	0	
教職課程	教育原論	1後			2						1	
	教職概論	1前			2						1	
	教育制度論	1後			2						1	
	教育心理学	3前			2						1	
	特別支援教育論	2前			1						1	
	教育課程論	3前			1						1	
	道徳教育指導論	3前			2						1	
	総合的な学習の時間の指導法	2前			2						1	
	特別活動論	3前			1						1	
	教育方法論	3後			2						1	
	進路指導・生徒指導論	2前			2						1	
	教育相談の理論と方法	2後			2						1	
	事前・事後指導	3後~4前			1						2	
	教育実習Ⅰ	4前			2						2	
	教育実習Ⅱ	4前			2						2	
	教職実践演習	4後			2						4	
	理科教育法Ⅰ	2前			2						1	
	理科教育法Ⅱ	2後			2						1	
	理科教育法Ⅲ	3前			2						1	
	理科教育法Ⅳ	3後			2						1	
	地学	2後			2						1	
	地学実験	3前			2						2	
小計(22科目)	—	0	0	40	0	0	0	0	0	9		
合計(163科目)	—	57	226	40	18	9	0	2	0	88		

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】

4年以上在学し、124単位以上を修得しなければならない。

ただし、124単位の中には下表に示す単位を含むこと。

授業科目の区分		単位数
基礎教育課程	初年次教育	7
	キャリア教育	10
	人間と科学・外国語教育	
	数理基礎教育	
	英語・日本語基礎教育	8
専門教育課程	70	
全教育課程（基礎教育課程・専門教育課程）	24	

以下は、コース必修科目とする。

①	分析化学実験、情報処理技術、応用微生物学Ⅰ、応用微生物学実験、分子生命化学Ⅰ、分子生命化学実験、食品生物科学、食品生物科学実験、生物資源環境工学、生物資源環境工学実験、微生物遺伝学、微生物遺伝学実験は、生物機能科学コースのみ必修。
②	生化学Ⅱ、一般生理学、一般解剖学、生命科学基礎実験、生物物理化学、医学基礎、薬学基礎、分子生物学、生命情報科学実験、医用工学、医用生体工学実験、医薬材料学、細胞工学、細胞工学実験、環境生態学、生命環境科学実験、生命科学実践研究、生命科学実践演習は、応用生命科学コースのみ必修。

（履修科目の登録の上限：原則46単位（年間））

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】

4年以上在学し、124単位以上を修得しなければならない。

ただし、124単位の中には下表に示す単位を含むこと。

授業科目の区分		単位数
基礎教育課程	初年次教育	7
	キャリア教育	10
	人間と科学・外国語教育	
	数理基礎教育	
	英語・日本語基礎教育	8
専門教育課程	70	
全教育課程（基礎教育課程・専門教育課程）	24	

以下は、コース必修科目とする。

①	分析化学実験、情報処理技術、応用微生物学Ⅰ、応用微生物学実験、分子生命化学Ⅰ、分子生命化学実験、食品生物科学、食品生物科学実験、生物資源環境工学、生物資源環境工学実験、微生物遺伝学、微生物遺伝学実験は、生物機能科学コースのみ必修。
②	生化学Ⅱ、一般生理学、一般解剖学、生命科学基礎実験、生物物理化学、医学基礎、薬学基礎、分子生物学、生命情報科学実験、医用工学、医用生体工学実験、医薬材料学、細胞工学、細胞工学実験、環境生態学、生命環境科学実験、生命科学実践研究、生命科学実践演習は、応用生命科学コースのみ必修。

（履修科目の登録の上限：原則46単位（年間））

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎教育課程	初年次教育	SOJOセミナー	1前	1									9	
		SOJO基礎Ⅰ	1前	2									3	
		SOJO基礎Ⅱ	1後	2									3	
		情報処理基礎	1前	2									3	
	小計(4科目)	—	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	
	キャリア教育	アントレプレナーシップ入門	1前		2									1
		ベンチャービジネス	1後		2									2
		イノベーション入門	2前		2									2
		ローカルイノベーション	2後		2									2
		キャリアブレコオプ	2		2									2
		インターンシップⅠ	3前		1									1
		インターンシップⅡ	3後		1									1
		キャリアプロジェクト	3前		1									1
		キャリアセミナー	3後		1									1
	小計(9科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	人間と科学・外国語教育	科学技術者倫理	3後		2									1
		日本語表現	1後・2		2									1
		日本の文学	1後・2		2									1
		人間と心理	1後・2		2									1
		人間と哲学	1後・2		2									1
		人間と歴史	1後・2		2									1
		人間と環境	1後・2		2									1
		現代の社会と法	1後・2		2									1
		現代の社会と政治	1後・2		2									1
		現代の社会と経済(未開講)	1後・2		2									0
		アートとデザイン	1後・2		2									9
		日本国憲法	3前		2									1
英語圏の文化と社会		1後・2		2									1	
中国語圏の文化と社会		1後・2		2									1	
韓国語圏の文化と社会		1後・2		2									1	
ドイツ語圏の文化と社会(未開講)		1後・2		2									0	
フランス語圏の文化と社会		1後・2		2									1	
中国語		2後		2									1	
韓国語		2後		2									1	
ドイツ語		2後		2									1	
フランス語	2後		2									1		
健康スポーツ教育Ⅰ	1前		1									4		
健康スポーツ教育Ⅱ	1後		1									4		
健康科学概論	1後・2		2									1		
健康スポーツ実習	2		1									1		
小計(25科目)	—	4	43	0	0	0	0	0	0	0	0	27		
数理基礎教育	バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ	1前		3									5	
	バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ	1後		3									5	
	バイオ・化学系の数理Ⅰ	2前		2									1	
	バイオ・化学系の数理Ⅱ	2後		2									2	
	基礎物理学	1前		2									3	
	物理学	1後		2									3	
	物理学実験	2前		2									3	
小計(7科目)	—	3	13	0	0	0	0	0	0	0	0	11		
英語・日本語基礎教育	イングリッシュコミュニケーションⅠ	1前		2									6	
	イングリッシュコミュニケーションⅡ	1後		2									6	
	イングリッシュコミュニケーションⅢ	2前		2									7	
	イングリッシュコミュニケーションⅣ	2後		2									7	
	英語留学研修	1		2									1	
	TOEIC演習	1後・2		2									1	
	アカデミック英語	3		2									1	
小計(7科目)	—	8	6	0	0	0	0	0	0	0	0	10		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教育課程	日本語	基礎日本語Ⅰ	1前	2								1	
		基礎日本語Ⅱ	1後	2								1	
		基礎日本語Ⅲ	2前	2								2	
		基礎日本語Ⅳ	2後	2								2	
	小計(4科目)		—	8	0	0	0	0	0	0	0	3	
	共通	特殊講座 (データサイエンス入門)			2								2
		特殊講座 (未来デザイン)			1								1
		特殊講座 (異分野融合イノベーション)			2								4
		特殊講座 (情報と社会)			2								1
		特殊講座 (情報コミュニケーション)			2								1
特殊講座 (ITサポート)				2								1	
小計(6科目)		—	0	11	0	0	0	0	0	0	0	9	
専門教育課程	専門共通	化学Ⅰ	1前	2			1	2		0			
		化学Ⅱ	1前	2			2	1		0			
		発酵食品学	1前		2		1						
		食品生体機能学	1後	2			1						
		自然共生人類学	1前	2				1					
		医療福祉工学	1後	2								10	
		生物生命学セミナー	1前	1			19	10		2			
		生物学	1前	2			1	1		1			
		分析化学	1後	2			2	1					
		生化学Ⅰ	1後	2			2						
		有機化学	1後	4			1	2					
		酵素学	2前		2		1						
		細胞生物学	2前		2		1						
		分析化学実験	2前		2		1	1					
		生化学Ⅱ	2前		2		1						
		一般生理学	2前		2		1						
		一般解剖学	2前		2		1						
		生命科学基礎実験	2前		2		8	5		0			
		生物物理化学	2後		2		1	1					
		医学基礎	2後		2		1						
		環境工学概論	2後		2			1					
		発酵化学	3前		2		1						
		食品保蔵学	3前		2							1	
		発酵工業機器論	3前		2							1	
		工場管理法	3前		2							1	
		専門英語Ⅰ	3前		2		4	2					
		醸造学	3後		2		1						
		分子遺伝学	3後		2		1						
		情報処理技術	3後		2		6	2					
		食品関係法規	3後		1							1	
		専門英語Ⅱ	3後		2		5	1					
		薬学基礎	3前		2		1						
		特別講義	3前		1		1						
		ゼミナール	4通	2			16	8		0			
		卒業研究	4通	10			16	8		0			
小計(35科目)		—	27	50	0	19	10	0	2	0	0	14	
生物機能科学	応用微生物学Ⅰ	2前		2		1							
	応用微生物学実験	2前		4		2							
	応用微生物学Ⅱ	2後		2		1							
	微生物利用学	3後		2		1							
小計(4科目)		—	0	10	0	2	0	0	0	0	0		
分子生命化学	分子生命化学Ⅰ	2前		2		1	1						
	分子生命化学Ⅱ	2後		2		1	1						
	分子生命化学実験	2後		2		1							
	蛋白質工学	3前		2		1							
小計(4科目)		—	0	8	0	1	1	0	0	0	0		
食品生物科学	食品生物科学	2前		2		1							
	栄養生理学	3前		2		1	0						
	食品生物科学実験	3前		2		2							
	食品分析学	3後		2		1							
小計(4科目)		—	0	8	0	3	1	0	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育課程	環境生物学資源	生物資源環境工学	2前	2		1						
		環境保全工学	2後	2			1					
		生物資源環境工学実験	3前	2		1	1					
		生物反応工学	3後	2		1						
	小計(4科目)	—	0	8	0	1	1	0	0	0	0	
	微生物遺伝学	応用分子生物学	2前	2		1	0					
		微生物遺伝学	2後	2		1						
		遺伝子工学	2後	2		1	0					
		微生物遺伝学実験	2後	2		2	0					
	小計(4科目)	—	0	8	0	2	0	0	0	0	0	
	生命情報科学	分子生物学	2前	2		1						
		生命情報科学実験	2前	2		2	1					
		遺伝子科学	2後	2		1						
		生体情報学	3前	2			1					
		生理活性物質	3後	2		1						
		生体システム論	3後	2			1					
	小計(6科目)	—	0	12	0	2	1	0	0	0	0	
	医用生体工学	生体高分子科学	2前	2		1						1
		医用工学	2後	2		1						
		医用生体工学実験	2後	2		3	1					
		医薬材料学	3前	2		2						
	小計(4科目)	—	0	8	0	3	1	0	0	0	1	
細胞工学	細胞培養工学	2前	2		1							
	細胞工学	3前	2		1							
	細胞機能学	3前	2		1							
	細胞工学実験	3前	2		2	1	0					
	代謝工学	3後	2		1							
小計(5科目)	—	0	10	0	2	1	0	0	0	0		
生命環境科学	環境生態学	2前	2		1	1						
	生命環境論	2前	2			1						
	生命環境科学実験	2後	2		1	2						
	蛋白質科学	3前	2		1	1						
	環境化学	3後	2		1	1						
小計(5科目)	—	0	10	0	1	2	0	0	0	0		
プロジェクト	バイオテクノロジー総論Ⅰ	3後	2		5	0						
	バイオテクノロジー総論Ⅱ	3後	2		3	3						
	生命科学実践研究	3前	2		8	5	0					
	生命科学実践演習	3後	1		8	5	0					
	小計(4科目)	—	0	7	0	16	8	0	0	0	0	
教職課程	教育原論	1後		2							1	
	教職概論	1前		2							1	
	教育制度論	1後		2							1	
	教育心理学	3前		2							1	
	特別支援教育論	2前		1							1	
	教育課程論	3前		1							1	
	道徳教育指導論	3前		2							1	
	総合的な学習の時間の指導法	2前		2							1	
	特別活動論	3前		1							1	
	教育方法論	3後		2							1	
	進路指導・生徒指導論	2前		2							1	
	教育相談の理論と方法	2前		2							1	
	事前・事後指導	3後~4前		1							2	
	教育実習Ⅰ	4前		2							2	
	教育実習Ⅱ	4前		2							2	
	教職実践演習	4後		2							4	
	理科教育法Ⅰ	2後		2							1	
	理科教育法Ⅱ	3前		2							2	
	理科教育法Ⅲ	2後		2							1	
	理科教育法Ⅳ	3前		2							2	
	地学	2後		2							2	
	地学実験	3前		2							2	
小計(22科目)	—	0	0	40	0	0	0	0	0	0	12	
合計(163科目)			—	57	226	40	19	10	0	2	0	89

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】

4年以上在学し、124単位以上を修得しなければならない。
ただし、124単位の中には下表に示す単位を含むこと。

授業科目の区分		単位数
基礎教育課程	初年次教育	7
	キャリア教育	10
	人間と科学・外国語教育	
	数理基礎教育	5
	英語・日本語基礎教育	8
専門教育課程		70
全教育課程（基礎教育課程・専門教育課程）		24

以下は、コース必修科目とする。

①	分析化学実験、情報処理技術、応用微生物学Ⅰ、応用微生物学実験、分子生命化学Ⅰ、分子生命化学実験、食品生物学、食品生物学実験、生物資源環境工学、生物資源環境工学実験、微生物遺伝学、微生物遺伝学実験は、生物機能科学コースのみ必修。
②	生化学Ⅱ、一般生理学、一般解剖学、生命科学基礎実験、生物物理化学、医学基礎、薬学基礎、分子生物学、生命情報科学実験、医用工学、医用生体工学実験、医薬材料学、細胞工学、細胞工学実験、環境生態学、生命環境科学実験、生命科学実践研究、生命科学実践演習は、応用生命科学コースのみ必修。

（履修科目の登録の上限：原則46単位（年間））

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・担当教員変更により、「SOJOセミナー」の兼任・兼任数を「6」から「9」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「SOJO基礎Ⅰ」「SOJO基礎Ⅱ」の兼任・兼任数を「6」から「3」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「情報処理基礎」の兼任・兼任数を「1」から「3」に変更。
- ・担当教員変更により、「アントレプレナーシップ入門」の兼任・兼任数を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員変更により、「アートとデザイン」の兼任・兼任数を「14」から「9」に変更。
- ・担当教員変更により、「英語圏の文化と社会」の兼任・兼任数を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員変更により、「イングリッシュコミュニケーションⅠ」「イングリッシュコミュニケーションⅡ」の兼任・兼任数を「7」から「6」に変更。
- ・担当教員変更により、「基礎日本語Ⅰ」「基礎日本語Ⅱ」の兼任・兼任数を「2」から「1」に変更。
- ・教育の充実のため、特殊講座に「特殊講座（未来デザイン）」（選択1単位）（兼任1）、「特殊講座（データサイエンス入門）」（選択2単位）（兼任2）、「特殊講座（情報と社会）」（選択2単位）（兼任1）、「特殊講座（情報コミュニケーション）」（選択2単位）（兼任1）、「特殊講座（ITサポート演習）」（選択2単位）（兼任1）、「特殊講座（異分野融合イノベーション）」（選択2単位）（兼任4）を科目追加
- ・担当教員の職位変更により、「化学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・担当教員の職位変更と担当教員変更により、「化学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・開講期間変更により、「食品生体機能学」の配当年次を「1年前期」から「1年後期」に変更。
- ・開講期間変更により、「医療福祉工学」の配当年次を「1年前期」から「1年後期」に変更。講義形態見直しにより兼任・兼任数を「1」から「10」に変更。
- ・担当教員の職位変更と担当教員変更により、「生物生命学セミナー」の専任教員等の配置を「教授14、准教授9、助教1」から「教授19、准教授10、助教2」に変更。
- ・担当教員変更により、「生物学」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員追加により、「分析化学」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「生化学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「分析化学実験」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「生命科学基礎実験」「生命科学実践研究」「生命科学実験演習」の専任教員等の配置を「教授8、准教授4、助教1」から「教授8、准教授5、助教0」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「専門英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授4」から「教授4、准教授2」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「情報処理技術」の専任教員等の配置を「教授4、准教授4」から「教授6、准教授2」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「専門英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2」から「教授5、准教授1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「ゼミナール」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授14、准教授9、助教1」から「教授16、准教授8、助教0」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「栄養生理学」「応用分子生物学」「遺伝子工学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「微生物遺伝学実験」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2、准教授0」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「細胞工学実験」の専任教員等の配置を「教授2、助教1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「バイオテクノロジー総論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2」から「教授5、准教授0」に変更。

【令和5年度】

- ・担当教員変更により、「イノベーション入門」の兼任・兼任数を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ローカルイノベーション」の兼任・兼任数を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員変更により、「英語圏の文化と社会」の兼任・兼任数を「1」から「2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「バイオ・化学系の数理Ⅰ」の兼任・兼任数を「1」から「3」に変更。
- ・担当教員変更により、「イングリッシュコミュニケーションⅢ」「イングリッシュコミュニケーションⅣ」の兼任・兼任数を「7」から「6」に変更。
- ・担当教員変更により、「基礎日本語Ⅲ」「基礎日本語Ⅳ」の兼任・兼任数を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員変更により、「特殊講座（データサイエンス入門）」の兼任・兼任数を「2」から「3」に変更。
- ・開講期間変更により、「医療福祉工学」の配当年次を届け出時の「1年前期」に戻す。担当教員の変更により、兼任・兼任数を「10」から「9」に変更。
- ・担当教員の職位変更と担当教員変更により、「生物生命学セミナー」の専任教員等の配置を「教授19、准教授10、助教2」から「教授18、准教授9、助教2」に変更。
- ・担当教員追加により、「分析化学」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員変更により、「生化学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「有機化学」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「細胞生物学」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・開講期間変更により、「分析化学実験」の配当年次を「2年前期」から「3年前期」に変更。
- ・開講期間変更により、「一般解剖学」の配当年次を「2年前期」から「2年後期」に変更。担当教員の変更により専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員追加により、「生命科学基礎実験」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、助教0」から「教授8、准教授6、助教1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「専門英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2」から「教授5、准教授1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「情報処理技術」の専任教員等の配置を「教授6、准教授2」から「教授7、准教授1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「ゼミナール」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授16、准教授8」から「教授17、准教授7」に変更。
- ・担当教員変更により、「応用微生物学実験」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「分子生命科学Ⅰ」「分子生命科学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「分子生命科学実験」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「蛋白質工学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・開講期間変更により、「食品生物化学」の配当年次を「2年前期」から「2年後期」に変更。
- ・担当教員追加により、「生命情報科学実験」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授2、准教授2」に変更。
- ・担当教員追加により、「医用生体工学実験」の専任教員等の配置を「教授3、准教授1」から「教授3、准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「バイオテクノロジー総論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3」から「教授4、准教授2」に変更。
- ・開講期間変更により、「教育相談の理論と方法」の配当年次を「2年前期」から「2年後期」に変更。
- ・開講期間変更により、「理科教育法Ⅰ」の配当年次を「2年後期」から「2年前期」へ、「理科教育法Ⅱ」の配当年次を「3年前期」から「2年後期」へ、「理科教育法Ⅲ」を「2年後期」から「3年前期」へ、「理科教育法Ⅳ」を「3年前期」から「3年後期」に変更。
- ・担当教員変更により、「理科教育法Ⅱ」、「理科教育法Ⅳ」の兼任・兼任数を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員変更により、「地学」の兼任・兼任数を「2」から「1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
25 科目	111 科目	22 科目	158 科目	25 科目 []	116 科目 [5]	22 科目 []	163 科目 [5]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	ドイツ語圏の文化と社会	2	1後・2前	一般	選択	兼任教員の本務都合のためR5年度は未開講
2	ドイツ語	2	2後	一般	選択	兼任教員の本務都合のためR5年度は未開講
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

[未開講科目について]

2科目ともに一般教育の人間と科学・外国語教育について幅広い分野の複数科目(16科目)から1科目選択必修科目であることと、同じ形態内容の授業を、前期1コマ(2年生)、後期2コマ(1年生、2年生)開講しているため、学生への履修の影響は少なく学習に支障はないと考える。学生には、オリエンテーション時、対象者全員へプリントを配布し周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{158} = \boxed{1.26}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地購入のため(4) 学園所有地売却のため (4)			
	校舎敷地	218,227.82㎡ 208,746.99㎡	0㎡	0㎡	218,227.82㎡ 208,746.99㎡				
	運動場用地	179,865.00㎡	0㎡	0㎡	179,865.00㎡				
	小 計	388,611.99㎡	0㎡	0㎡	388,611.99㎡				
	そ の 他	433,225.11㎡ 433,995.92㎡	0㎡	0㎡	433,225.11㎡ 433,995.92㎡				
	合 計	822,607.91㎡	0㎡	0㎡	822,607.91㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	附属施設を借用のため (4)			
		90,720.68㎡ 90,447.08㎡ (90,720.68㎡ 90,447.08㎡)	0㎡	0㎡	90,720.68㎡ 90,447.08㎡ (90,720.68㎡ 90,447.08㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室 67室 74室 79室	演 習 室 50室 5室 6室	実験実習室 300室 343室 337室	情報処理学習施設 4室 11室 12室 (補助職員 5人)	語学学習施設 24室 23室 24室 (補助職員 3人)	大学全体 校舎内の改修や部屋の用途変更を 行ったため(4)(5)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 生物生命学部 生物生命学科		室 数 30 32 24	室	専任教員の異動に伴い変 更(4)(5)			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数 算入が必要な学術雑誌 に漏れがあったため (4) 学術雑誌の見直しを 行った結果、学術雑誌 から一般雑誌に変更と なった雑誌があったた め(5)	
	生物生命学部 生物生命学科	218,186 [20,673] (208,306 [20,041]) (208,100 [20,004]) (211,569 [20,475])	5,906 [5,192] 4,176 [4,055] (4,176 [4,055]) (5,906 [5,192]) (5,769 [5,113])	4,710 [4,708] 4,042 [4,042] (4,042 [4,042]) (4,710 [4,708]) (4,681 [4,679])	4,262 (4,058) (3,993) (4,084)	959 (959)	(0)		
	計	218,186 [20,673] (208,306 [20,041]) (208,100 [20,004]) (211,569 [20,475])	5,906 [5,192] 4,176 [4,055] (4,176 [4,055]) (5,906 [5,192]) (5,769 [5,113])	4,710 [4,708] 4,042 [4,042] (4,042 [4,042]) (4,710 [4,708]) (4,681 [4,679])	4,262 (4,058) (3,993) (4,084)	959 (959)	(0)		
(6) 図 書 館		面 積 6,777㎡	閱 覧 座 席 数 479 453	収 納 可 能 冊 数 182,222	図書館は図書館本館について記載 する。 コロナ対策が緩和され、座席数を 増やしたため(5)				
(7) 体 育 館		面 積 3,236㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 野球場 1面 ソフトボール場 2面 テニスコート 6面 屋内野球練習場 1棟 弓道場 1棟 射撃場 1棟 プール 1棟 フットサル場 1面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子 ジャーナル、デー タベースの整備費(運用 コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	709千円	709千円	図書購入費	7,917千円	7,917千円	7,917千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	7,387千円	7,387千円	7,387千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,470千円	第2年次 1,250千円	第3年次 1,250千円	第4年次 1,250千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		崇城大学				平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	3	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度		
工学部	4	270	-	1080	-	1.08	-	1.08	-	-	昭和42	-	
機械工学科	4	70	-	280	学士(工学)	1.14	-	1.13	-	-	昭和42	熊本県熊本市西区池田4丁目22番1号	
ナノサイエンス学科	4	50	-	200	学士(工学)	1.04	-	1.03	-	-	平成19	同上	
建築学科	4	70	-	280	学士(工学)	1.16	-	1.17	-	-	平成19	同上	
宇宙航空システム工学科	4	80	-	320	学士(工学)	0.98	-	1.00	-	-	昭和51	同上	
芸術学部	4	70	-	280	-	1.15	-	1.12	-	-	平成12	-	
美術学科	4	30	-	120	学士(芸術)	1.13	-	1.11	-	-	平成12	同上	
デザイン学科	4	40	-	160	学士(芸術)	1.17	-	1.13	-	-	平成12	同上	
情報学部	4	130	-	520	-	1.21	-	1.22	-	-	平成17	-	
情報学科	4	130	-	520	学士(工学)	1.21	-	1.22	-	-	平成21	同上	
生物生命学部	4	150	-	600	-	1.05	-	1.12	-	-	平成17	-	
応用微生物工学科	4	-	-	140	学士(工学)	0.91	-	-	-	-	平成17	同上	※令和4年度学生募集停止
応用生命科学科	4	-	-	160	学士(工学)	1.01	-	-	-	-	平成17	同上	※令和4年度学生募集停止
生物生命学科	4	150	-	300	学士(工学)	1.13	-	1.12	-	-	令和4	同上	
薬学部	6	120	-	720	-	1.11	-	1.13	-	-	平成17	-	
薬学科	6	120	-	720	学士(薬学)	1.11	-	1.13	-	-	平成17	同上	
大学全体	-	740	-	3200	-	-	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<生物生命学部 生物生命学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮坂 均 (64(高)) <令和4年4月> 薬学博士 生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 細胞培養工学 細胞工学 細胞工学実験 代謝工学 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	寺本 祐司 (63(高)) <令和4年4月> 農学博士 発酵食品学 生物生命学セミナー ※ 専門英語Ⅱ ※ ゼミナール 卒業研究 食品生物科学 食品生物科学実験 バイオテクノロジー総論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	原島 俊 (72(高)) <令和4年4月> 工学博士 生物生命学セミナー ※
専	教授	安藤 祥司 (65(高)) <令和4年4月> 理学博士 生物生命学セミナー ※
専	教授	松本 陽子 (65(高)) <令和4年4月> 薬学博士 生物生命学セミナー ※ 分析化学
専	教授	宮坂 均 (64(高)) <令和4年4月> 薬学博士 生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 細胞培養工学 細胞工学 細胞工学実験 代謝工学 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	寺本 祐司 (63(高)) <令和4年4月> 農学博士 発酵食品学 生物生命学セミナー ※ 専門英語Ⅱ ※ ゼミナール 卒業研究 食品生物科学 食品生物科学実験 バイオテクノロジー総論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安藤 祥司 (66(高)) <令和4年4月> 理学博士 生物生命学セミナー ※ 分子生命科学Ⅰ 分子生命科学Ⅱ 分子生命科学実験
専	教授	宮坂 均 (65(高)) <令和4年4月> 薬学博士 生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 細胞培養工学 細胞工学 細胞工学実験 代謝工学 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	寺本 祐司 (64(高)) <令和4年4月> 農学博士 発酵食品学 生物生命学セミナー ※ 専門英語Ⅱ ※ ゼミナール 卒業研究 食品生物科学 食品生物科学実験 バイオテクノロジー総論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田口 久貴 (62) ＜令和4年4月＞ 農学博士
		生物生命学セミナー ※ 酵素学 専門英語Ⅱ ※ ゼミナール 卒業研究 微生物遺伝学 微生物遺伝学実験 バイオテクノロジー総論Ⅰ
専	教授	齋田 哲也 (60) ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		生物生命学セミナー ※ 生物学 一般解剖学 生命科学基礎実験 ※ 医学基礎 薬学基礎 ゼミナール 卒業研究 生命情報科学実験 生理活性物質 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	武谷 浩之 (59) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生物学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 分子生物学 生命情報科学実験 遺伝子科学 生命科学実践研究 生命科学実践演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田口 久貴 (62) ＜令和4年4月＞ 農学博士
		生物生命学セミナー ※ 酵素学 専門英語Ⅱ ※ ゼミナール 卒業研究 微生物遺伝学 微生物遺伝学実験 バイオテクノロジー総論Ⅰ
専	教授	齋田 哲也 (60) ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		生物生命学セミナー ※ 一般解剖学 生命科学基礎実験 ※ 医学基礎 薬学基礎 ゼミナール 卒業研究 生命情報科学実験 生理活性物質 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	武谷 浩之 (59) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生物学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 分子生物学 生命情報科学実験 遺伝子科学 生命科学実践研究 生命科学実践演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田口 久貴 (63) ＜令和4年4月＞ 農学博士
		生物生命学セミナー ※ 酵素学 専門英語Ⅱ ※ ゼミナール 卒業研究 微生物遺伝学 微生物遺伝学実験 バイオテクノロジー総論Ⅰ
専	教授	齋田 哲也 (61) ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ 医学基礎 薬学基礎 ゼミナール 卒業研究 生命情報科学実験 生理活性物質 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	武谷 浩之 (60) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生物学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 分子生物学 生命情報科学実験 遺伝子科学 生命科学実践研究 生命科学実践演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	石田 誠一 (57) ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		生物生命学セミナー ※ 生化学Ⅱ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 医用工学 ※ 医用生体工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	長濱 一弘 (57) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 専門英語Ⅰ ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 生物資源環境工学 生物資源環境工学実験 生物反応工学 バイオテクノロジー総論Ⅱ
専	教授	後藤 浩一 (56) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 有機化学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 生体高分子科学 医用生体工学実験 医薬材料学 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	三枝 敬明 (56) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		食品生体機能学 生物生命学セミナー ※ 醸造学 情報処理技術 ※ 専門英語Ⅱ ※ ゼミナール 卒業研究 食品生物科学実験 バイオテクノロジー総論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	石田 誠一 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		生物生命学セミナー ※ 生化学Ⅱ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 医用工学 ※ 医用生体工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	長濱 一弘 (57) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 専門英語Ⅰ ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 生物資源環境工学 生物資源環境工学実験 生物反応工学 バイオテクノロジー総論Ⅱ
専	教授	後藤 浩一 (56) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 有機化学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 生体高分子科学 医用生体工学実験 医薬材料学 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	三枝 敬明 (56) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		食品生体機能学 生物生命学セミナー ※ 醸造学 情報処理技術 ※ 専門英語Ⅱ ※ ゼミナール 卒業研究 食品生物科学実験 バイオテクノロジー総論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	石田 誠一 (59) ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		生物生命学セミナー ※ 生化学Ⅱ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 医用工学 ※ 医用生体工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	長濱 一弘 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 専門英語Ⅰ ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 生物資源環境工学 生物資源環境工学実験 生物反応工学 バイオテクノロジー総論Ⅱ
専	教授	後藤 浩一 (57) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 有機化学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 生体高分子科学 医用生体工学実験 医薬材料学 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	三枝 敬明 (57) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		食品生体機能学 生物生命学セミナー ※ 醸造学 情報処理技術 ※ 専門英語Ⅱ ※ ゼミナール 卒業研究 食品生物科学実験 バイオテクノロジー総論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 進二郎 (56) <令和4年4月> 博士(工学)
		化学 I 化学 II 生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ 特別講義 ゼミナール 卒業研究 細胞機能学 細胞工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	千々岩 崇仁 (53) <令和4年4月> 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生化学 I 生命科学基礎実験 ※ 生物物理化学 ※ ゼミナール 卒業研究 環境生態学 生命環境科学実験 ※ 蛋白質科学 ※ 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	浴野 圭輔 (50) <令和4年4月> 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 生化学 I 分子遺伝学 情報処理技術 ※ 専門英語 II ※ ゼミナール 卒業研究 応用微生物学 I 応用微生物学実験 微生物利用学 分子生命化学 I 分子生命化学 II バイオテクノロジー総論 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 進二郎 (56) <令和4年4月> 博士(工学)
		化学 I 化学 II 生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ 特別講義 ゼミナール 卒業研究 細胞機能学 細胞工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	千々岩 崇仁 (53) <令和4年4月> 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生化学 I 生命科学基礎実験 ※ 生物物理化学 ※ ゼミナール 卒業研究 環境生態学 生命環境科学実験 ※ 蛋白質科学 ※ 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	浴野 圭輔 (51) <令和4年4月> 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 生化学 I 分子遺伝学 情報処理技術 ※ 専門英語 II ※ ゼミナール 卒業研究 応用微生物学 I 応用微生物学実験 微生物利用学 分子生命化学 I 分子生命化学 II バイオテクノロジー総論 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 進二郎 (57) <令和4年4月> 博士(工学)
		化学 I 化学 II 生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ 特別講義 ゼミナール 卒業研究 細胞機能学 細胞工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	千々岩 崇仁 (54) <令和4年4月> 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生化学 I 生命科学基礎実験 ※ 生物物理化学 ※ ゼミナール 卒業研究 環境生態学 生命環境科学実験 ※ 蛋白質科学 ※ 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	浴野 圭輔 (52) <令和4年4月> 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 分子遺伝学 情報処理技術 ※ 専門英語 II ※ ゼミナール 卒業研究 応用微生物学 I 応用微生物学実験 微生物利用学 バイオテクノロジー総論 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	市原 英明 (49) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 分析化学 一般生理学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 医用生体工学実験 医薬材料学 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	岡 拓二 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 生化学 I 細胞生物学 発酵化学 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 応用微生物学実験 応用微生物学 II バイオテクノロジー総論 I
専	准教授	西園(千葉) 祥子 (48) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 分析化学実験 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ 専門英語 II ※ ゼミナール 卒業研究 栄養生理学 バイオテクノロジー総論 I
専	准教授	笹野 佑 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 応用分子生物学 遺伝子工学 微生物遺伝学実験 バイオテクノロジー総論 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	市原 英明 (49) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 分析化学 一般生理学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 医用生体工学実験 医薬材料学 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	岡 拓二 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 細胞生物学 発酵化学 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 応用微生物学実験 応用微生物学 II バイオテクノロジー総論 I
専	教授	西園(千葉) 祥子 (48) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		化学 II 生物生命学セミナー ※ 分析化学実験 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ 専門英語 II ※ ゼミナール 卒業研究 栄養生理学 バイオテクノロジー総論 I
専	教授	笹野 佑 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 応用分子生物学 遺伝子工学 微生物遺伝学実験 バイオテクノロジー総論 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	市原 英明 (50) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 分析化学 一般生理学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 医用生体工学実験 医薬材料学 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	岡 拓二 (47) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 発酵化学 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 応用微生物学 II バイオテクノロジー総論 I
専	教授	西園(千葉) 祥子 (49) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		化学 II 生物生命学セミナー ※ 分析化学実験 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ 専門英語 II ※ ゼミナール 卒業研究 栄養生理学 バイオテクノロジー総論 I
専	教授	笹野 佑 (43) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 応用分子生物学 遺伝子工学 微生物遺伝学実験 バイオテクノロジー総論 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	宮原 浩二 (51) <令和4年4月> 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 生命情報科学実験 生体情報学 生体システム論 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	准教授	西山 孝 (49) <令和4年4月> 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ 環境工学概論 ゼミナール 卒業研究 環境生態学 生命環境論 生命環境科学実験 ※ 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	准教授	劉 暁輝 (47) <令和4年4月> 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生物学 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 環境保全工学 生物資源環境工学実験 バイオテクノロジー総論 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	宮原 浩二 (51) <令和4年4月> 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 生命情報科学実験 生体情報学 生体システム論 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	准教授	西山 孝 (49) <令和4年4月> 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ 環境工学概論 ゼミナール 卒業研究 環境生態学 生命環境論 生命環境科学実験 ※ 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	准教授	劉 暁輝 (48) <令和4年4月> 博士(理学)
		化学 I 生物生命学セミナー ※ 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 環境保全工学 生物資源環境工学実験 バイオテクノロジー総論 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	宮原 浩二 (52) <令和4年4月> 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 生命情報科学実験 生体情報学 生体システム論 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	准教授	西山 孝 (50) <令和4年4月> 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ 環境工学概論 ゼミナール 卒業研究 環境生態学 生命環境論 生命環境科学実験 ※ 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	准教授	劉 暁輝 (49) <令和4年4月> 博士(理学)
		化学 I 生物生命学セミナー ※ 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 環境保全工学 生物資源環境工学実験 バイオテクノロジー総論 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	太田 広人 (47) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		化学 I 化学 II 生物生命学セミナー ※ 有機化学 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 分子生命化学 I 分子生命化学 II 分子生命化学実験 蛋白質工学 バイオテクノロジー総論 II
専	准教授	小島 幸治 (44) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		生物生命学セミナー ※ 分析化学 分析化学実験 専門英語 II ※ 食品分析学 ゼミナール 卒業研究 バイオテクノロジー総論 II
専	助教	林 修平 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		化学 I 化学 II 生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 細胞工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	太田 広人 (47) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 有機化学 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 分子生命化学 I 分子生命化学 II 分子生命化学実験 蛋白質工学 バイオテクノロジー総論 II
専	准教授	小島 幸治 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		生物生命学セミナー ※ 分析化学 分析化学実験 専門英語 II ※ 食品分析学 ゼミナール 卒業研究 バイオテクノロジー総論 II
専	准教授	林 修平 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		化学 I 化学 II 生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 細胞工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	太田 広人 (48) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 有機化学 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 分子生命化学実験 蛋白質工学 バイオテクノロジー総論 II
専	准教授	小島 幸治 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		生物生命学セミナー ※ 分析化学 分析化学実験 専門英語 II ※ 食品分析学 ゼミナール 卒業研究 バイオテクノロジー総論 II
専	准教授	林 修平 (46) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		化学 I 化学 II 生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 細胞工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	古水 雄志 (43) <令和4年4月> 博士(工学)
		自然共生人類学 生物生命学セミナー ※ 有機化学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 医用生体工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	准教授	平 大輔 (40) <令和4年4月> 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ 生物物理化学 ※ ゼミナール 卒業研究 生命環境科学実験 ※ 蛋白質科学 ※ 環境化学 生命科学実践研究 生命科学実践演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	古水 雄志 (43) <令和4年4月> 博士(工学)
		自然共生人類学 生物生命学セミナー ※ 有機化学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 医用生体工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	准教授	平 大輔 (40) <令和4年4月> 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ 生物物理化学 ※ ゼミナール 卒業研究 生命環境科学実験 ※ 蛋白質科学 ※ 環境化学 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	准教授	阿部 雄一 (43) <令和4年4月> 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※
専	准教授	江崎加代子 (36) <令和4年4月> 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生物学
専	助教	奥村 真樹 (30) <令和4年4月> 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	古水 雄志 (44) <令和4年4月> 博士(工学)
		自然共生人類学 生物生命学セミナー ※ 有機化学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 医用生体工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	准教授	平 大輔 (41) <令和4年4月> 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ 生物物理化学 ※ ゼミナール 卒業研究 生命環境科学実験 ※ 蛋白質科学 ※ 環境化学 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	准教授	阿部 雄一 (44) <令和4年4月> 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生化学 I 応用微生物学実験
専	准教授	江崎加代子 (37) <令和4年4月> 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生物学 一般解剖学 生命科学基礎実験 ※ 生命情報科学実験
専	助教	奥村 真樹 (31) <令和4年4月> 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 分析化学 生命科学基礎実験 ※ 医用生体工学実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	川副 智行 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		アントレプレナーシップ入門 ベンチャービジネス イノベーション入門 ローカルイノベーション
兼担	教授	藤本 元啓 (66) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		キャリアプレコオプ インターンシップⅠ インターンシップⅡ キャリアプロジェクト キャリアセミナー
兼担	教授	鈴木 俊洋 (53) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		SOJOセミナー ※ SOJO基礎Ⅰ SOJO基礎Ⅱ 科学技術者倫理
兼担	教授	岩本 晃代 (59) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)(比較社会文化)
		SOJOセミナー ※ SOJO基礎Ⅰ SOJO基礎Ⅱ 日本の文学 教育制度論 教職実践演習
兼担	教授	富田 健之 (66) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		SOJOセミナー ※ 人間と歴史

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	門岡 千尋 (28) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 生物学
兼担	教授	川副 智行 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		アントレプレナーシップ入門 ベンチャービジネス イノベーション入門 ローカルイノベーション
兼担	教授	藤本 元啓 (66) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		キャリアプレコオプ インターンシップⅠ インターンシップⅡ キャリアプロジェクト キャリアセミナー
兼担	教授	鈴木 俊洋 (53) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		SOJOセミナー ※ 科学技術者倫理
兼担	教授	岩本 晃代 (59) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)(比較社会文化)
		SOJOセミナー ※ SOJO基礎Ⅰ SOJO基礎Ⅱ 日本の文学 教育制度論 教職実践演習
兼担	教授	富田 健之 (66) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		SOJOセミナー ※ 人間と歴史

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	門岡 千尋 (29) ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 生物学 細胞生物学
兼担	教授	川副 智行 (55) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		アントレプレナーシップ入門 ベンチャービジネス イノベーション入門 ローカルイノベーション
兼担	教授	藤本 元啓 (67) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		インターンシップⅠ インターンシップⅡ キャリアプロジェクト キャリアセミナー 教職実践演習
兼担	教授	鈴木 俊洋 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		SOJOセミナー ※ 科学技術者倫理
兼担	教授	岩本 晃代 (60) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)(比較社会文化)
		SOJOセミナー ※ SOJO基礎Ⅰ SOJO基礎Ⅱ 日本の文学 教育制度論 教職実践演習
兼担	教授	富田 健之 (67) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		SOJOセミナー ※ 人間と歴史

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上野 賢仁 (55) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		人間と環境 基礎物理学 物理学 物理学実験 特殊講座
兼任	教授	今井 亮佑 (44) ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		SOJOセミナー ※ 現代の社会と政治
兼任	教授	河合 浩明 (64) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ バイオ・化学系の数理Ⅱ
兼任	教授	木村 勝美 (72) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		教職概論 教育課程論 総合的な学習の時間の指導法 特別活動論 教育方法論 事前・事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習
兼任	教授	中村 賢次 (59) ＜令和4年4月＞ 美術修士
		アートとデザイン ※
兼任	教授	熊谷 有展 (55) ＜令和4年4月＞ 芸術修士
		アートとデザイン ※
兼任	教授	関根 浩子 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(芸術学)
		アートとデザイン ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上野 賢仁 (55) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		人間と環境 物理学実験
兼任	教授	今井 亮佑 (44) ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		SOJOセミナー ※ SOJO基礎Ⅰ SOJO基礎Ⅱ 現代の社会と政治
兼任	教授	河合 浩明 (64) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ バイオ・化学系の数理Ⅱ
兼任	教授	木村 勝美 (73) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		SOJOセミナー ※ 教育課程論 総合的な学習の時間の指導法 特別活動論 教育方法論 事前・事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上野 賢仁 (56) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		人間と環境 物理学実験
兼任	教授	今井 亮佑 (45) ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		SOJOセミナー ※ SOJO基礎Ⅰ SOJO基礎Ⅱ 現代の社会と政治
兼任	教授	河合 浩明 (65) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ バイオ・化学系の数理Ⅰ バイオ・化学系の数理Ⅱ
兼任	教授	木村 勝美 (73) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		教育課程論 総合的な学習の時間の指導法 特別活動論 教育方法論 事前・事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習 道徳教育指導論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	永田 郁 (51) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		アートとデザイン ※
兼任	教授	森野 晶人 (58) ＜令和4年4月＞ 芸術学修士
		アートとデザイン ※
兼任	教授	原田 和典 (55) ＜令和4年4月＞ 芸術修士※
		アートとデザイン ※
兼任	教授	三枝 泰之 (64) ＜令和4年4月＞ 文学士
		アートとデザイン ※
兼任	教授	飯田 晴彦 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		アートとデザイン ※
兼任	准教授	園部 博範 (69) ＜令和4年4月＞ 文学士
		人間と心理 教育心理学 教職実践演習
兼任	准教授	竹内 明里 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		SOJ0セミナー ※ SOJ0基礎 I SOJ0基礎 II 現代の社会と法 日本国憲法
兼任	准教授	水月 晃 (48) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		健康スポーツ教育 I 健康スポーツ教育 II 健康スポーツ実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	永田 郁 (51) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		アートとデザイン ※
兼任	教授	森野 晶人 (58) ＜令和4年4月＞ 芸術学修士
		アートとデザイン ※
兼任	教授	原田 和典 (55) ＜令和4年4月＞ 芸術修士※
		アートとデザイン ※
兼任	教授	飯田 晴彦 (58) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		アートとデザイン ※
兼任	教授	園部 博範 (69) ＜令和4年4月＞ 文学士
		SOJ0セミナー ※ 人間と心理 教育心理学 教職実践演習
兼任	准教授	竹内 明里 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		SOJ0セミナー ※ 現代の社会と法 日本国憲法
兼任	准教授	水月 晃 (48) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		健康スポーツ教育 I 健康スポーツ教育 II 健康スポーツ実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	永田 郁 (52) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		アートとデザイン ※
兼任	教授	森野 晶人 (59) ＜令和4年4月＞ 芸術学修士
		アートとデザイン ※
兼任	教授	原田 和典 (56) ＜令和4年4月＞ 芸術修士※
		アートとデザイン ※
兼任	教授	飯田 晴彦 (59) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		アートとデザイン ※
兼任	准教授	竹内 明里 (47) ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		SOJ0セミナー ※ 現代の社会と法 日本国憲法
兼任	准教授	水月 晃 (49) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		健康スポーツ教育 II 健康スポーツ実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	増村 雅尚 (45) ＜令和4年4月＞ 修士(体育学)
		SOJ0基礎Ⅰ SOJ0基礎Ⅱ 健康スポーツ教育Ⅰ 健康スポーツ教育Ⅱ
兼担	准教授	藤原 大樹 (41) ＜令和4年4月＞ 修士(人間環境学)
		SOJ0基礎Ⅰ SOJ0基礎Ⅱ 健康スポーツ教育Ⅰ 健康スポーツ教育Ⅱ 健康科学概論
兼担	准教授	天本 徳浩 (60) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		物理学実験
兼担	准教授	日比野 剛士 (52) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ バイオ・化学系の数理Ⅱ
兼担	准教授	大嶋 康裕 (43) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ
兼担	准教授	津曲 紀宏 (39) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ
兼担	准教授	山本 康詞 (67) ＜令和5年4月＞ 工学士
		進路指導・生徒指導論 事前・事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	藤原 大樹 (41) ＜令和4年4月＞ 修士(人間環境学)
		健康スポーツ教育Ⅰ 健康スポーツ教育Ⅱ 健康科学概論
兼担	准教授	天本 徳浩 (60) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		物理学実験
兼担	教授	日比野 剛士 (53) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ バイオ・化学系の数理Ⅱ
兼担	准教授	大嶋 康裕 (43) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ
兼担	准教授	津曲 紀宏 (39) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ
兼任	講師	山本 康詞 (67) ＜令和5年4月＞ 工学士
		進路指導・生徒指導論 事前・事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	藤原 大樹 (42) ＜令和4年4月＞ 修士(人間環境学)
		健康スポーツ教育Ⅰ 健康スポーツ教育Ⅱ
兼担	教授	日比野 剛士 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ
兼担	准教授	大嶋 康裕 (44) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ
兼担	准教授	津曲 紀宏 (40) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ
兼任	講師	山本 康詞 (68) ＜令和5年4月＞ 工学士
		進路指導・生徒指導論 教職実践演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	宝来 華代子 (50) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		イングリッシュコミュニケーションⅠ イングリッシュコミュニケーションⅡ イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ TOEIC演習
兼担	准教授	Elton LaClare (46) ＜令和4年4月＞ Creative Writing(英国)
		イングリッシュコミュニケーションⅠ イングリッシュコミュニケーションⅡ イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ
兼担	准教授	Robert Hirschel (45) ＜令和4年4月＞ TESOL(米国)
		英語圏の文化と社会 イングリッシュコミュニケーションⅠ イングリッシュコミュニケーションⅡ イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ
兼担	准教授	佐藤 和歌子 (42) ＜令和4年4月＞ 修士(芸術)
		アートとデザイン ※
兼担	准教授	清島 浩徳 (53) ＜令和4年4月＞ 博士(芸術)
		アートとデザイン ※
兼担	准教授	下城 賢一 (49) ＜令和4年4月＞ 修士(美術)
		アートとデザイン ※
兼担	准教授	甲野 善一郎 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(芸術)
		アートとデザイン ※
兼担	准教授	小川 剛 (40) ＜令和4年4月＞ 修士(芸術)
		アートとデザイン ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	宝来 華代子 (50) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ TOEIC演習
兼担	准教授	Elton LaClare (47) ＜令和4年4月＞ Creative Writing(英国)
		イングリッシュコミュニケーションⅠ イングリッシュコミュニケーションⅡ イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ
兼担	准教授	Robert Hirschel (45) ＜令和4年4月＞ TESOL(米国)
		英語圏の文化と社会 イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ
兼担	准教授	甲野 善一郎 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(芸術)
		アートとデザイン ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	宝来 華代子 (51) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		TOEIC演習
兼担	准教授	Elton LaClare (48) ＜令和4年4月＞ Creative Writing(英国)
		イングリッシュコミュニケーションⅠ イングリッシュコミュニケーションⅡ
兼担	准教授	Robert Hirschel (46) ＜令和4年4月＞ TESOL(米国)
		英語圏の文化と社会 イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ
兼担	准教授	甲野 善一郎 (47) ＜令和4年4月＞ 修士(芸術)
		アートとデザイン ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	上妻 利博 (63) ＜令和4年4月＞ 文学士
		SOJ0セミナー ※ SOJ0基礎 I SOJ0基礎 II 日本語表現
兼任	講師	木下(有江) 陽子 (44) ＜令和4年4月＞ TESOL (米国)
		イングリッシュコミュニケーション I イングリッシュコミュニケーション II イングリッシュコミュニケーション III イングリッシュコミュニケーション IV
兼任	講師	David Bollen (50) ＜令和4年4月＞ Linguistics(豪州)
		イングリッシュコミュニケーション I イングリッシュコミュニケーション II イングリッシュコミュニケーション III イングリッシュコミュニケーション IV アカデミック英語
兼任	講師	Gareth Humphreys (42) ＜令和4年4月＞ Modern Languages (英国)
		英語圏の文化と社会 イングリッシュコミュニケーション I イングリッシュコミュニケーション II イングリッシュコミュニケーション III イングリッシュコミュニケーション IV 英語留学研修
兼任	講師	Branden Kirchmeyer (34) ＜令和4年4月＞ ESOL Education (英国)
		イングリッシュコミュニケーション I イングリッシュコミュニケーション II イングリッシュコミュニケーション III イングリッシュコミュニケーション IV

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木下(有江) 陽子 (44) ＜令和4年4月＞ TESOL (米国)
		イングリッシュコミュニケーション I イングリッシュコミュニケーション II イングリッシュコミュニケーション III イングリッシュコミュニケーション IV
兼任	准教授	David Bollen (50) ＜令和4年4月＞ Linguistics(豪州)
		イングリッシュコミュニケーション I イングリッシュコミュニケーション II イングリッシュコミュニケーション III イングリッシュコミュニケーション IV アカデミック英語
兼任	講師	Gareth Humphreys (42) ＜令和4年4月＞ Modern Languages (英国)
		イングリッシュコミュニケーション III イングリッシュコミュニケーション IV 英語留学研修
兼任	講師	Branden Kirchmeyer (34) ＜令和4年4月＞ ESOL Education (英国)
		イングリッシュコミュニケーション III イングリッシュコミュニケーション IV

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木下(有江) 陽子 (45) ＜令和4年4月＞ TESOL (米国)
		イングリッシュコミュニケーション I イングリッシュコミュニケーション II
兼任	准教授	David Bollen (51) ＜令和4年4月＞ Linguistics(豪州)
		イングリッシュコミュニケーション I イングリッシュコミュニケーション II アカデミック英語
兼任	講師	Gareth Humphreys (43) ＜令和4年4月＞ Modern Languages (英国)
		英語圏の文化と社会 イングリッシュコミュニケーション III イングリッシュコミュニケーション IV 英語留学研修
兼任	講師	

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	川本 正道 (62) ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		情報処理基礎
兼担	助教	田口 雄太 (36) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		アントレプレナーシップ入門 ベンチャービジネス イノベーション入門 ローカルイノベーション
兼担	助教	板橋 克美 (30) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		基礎物理学 物理学 物理学実験 理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ 理科教育法Ⅲ 理科教育法Ⅳ 地学 地学実験
兼担	助教	藤城 謙一 (36) ＜令和4年4月＞ 博士(数理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ
兼担	助教	木下 裕士 (37) ＜令和4年4月＞ 学士(芸術)
		アートとデザイン ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	川本 正道 (62) ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		情報処理基礎 特殊講座(情報と社会)
兼担	助教	田口 雄太 (36) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		情報処理基礎 ベンチャービジネス イノベーション入門 ローカルイノベーション
兼担	助教	板橋 克美 (30) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		基礎物理学 物理学 物理学実験 理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ 理科教育法Ⅲ 理科教育法Ⅳ 地学 地学実験
兼担	講師	吉塚 治生 (62) ＜令和4年4月＞ 工学士
		S0J0セミナー ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	川本 正道 (63) ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		情報処理基礎 特殊講座(情報と社会)
兼担	助教	田口 雄太 (37) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		情報処理基礎 S0J0セミナー ※ 特殊講座(情報コミュニケーション)
兼担	助教	板橋 克美 (31) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		基礎物理学 物理学 物理学実験 理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ 理科教育法Ⅲ 理科教育法Ⅳ 地学実験
兼担	助教	藤城 謙一 (37) ＜令和4年4月＞ 博士(数理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ
兼担	助教	木下 裕士 (38) ＜令和4年4月＞ 学士(芸術)
		アートとデザイン ※
兼担	講師	吉塚 治生 (63) ＜令和4年4月＞ 工学士
		S0J0セミナー ※ 教職実践演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤田 崇 (51) <令和5年4月> 学士(法学)
		キャリアブレコオプ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西見 文明 (64) <令和4年4月> 工学士
		特殊講座(情報コミュニケーション)
兼任	助教	原北 祥悟 (31) <令和4年4月> 修士(教育学)
		教職概論
兼任	講師	藤田 崇 (51) <令和5年4月> 学士(法学)
		キャリアブレコオプ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	尾崎 昭剛 (45) <令和5年4月> 博士(情報工学)
		特殊講座(データサイエンス入門)
兼任	助教	原北 祥悟 (32) <令和4年4月> 修士(教育学)
		教職概論 事前・事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習
兼任	講師	藤田 崇 (52) <令和5年4月> 学士(法学)
		キャリアブレコオプ
兼任	助教	中尾 千智 (34) <令和5年4月> 臨床心理修士(専門職)
		S0J0セミナー ※ 人間と心理 教育心理学 教育相談の理論と方法
兼任	准教授	田代 寛之 (46) <令和5年4月> 博士(理学)
		基礎物理学 物理学 物理学実験
兼任	講師	Christopher Ott (42) <令和5年4月> TESOL(米国)
		イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ
兼任	講師	Oliver Edwards (32) <令和5年4月> Modernities(英国)
		イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ
兼任	講師	古賀アリソン (38) <令和5年4月> Education for Multilingual Learners(米国)
		イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	黒杭 隆政 (53) ＜令和6年4月＞ 修士(農学)
		発酵工業機器論【隔年】
兼任	講師	宮本 敬久 (63) ＜令和6年4月＞ 農学博士
		食品保蔵学
兼任	講師	岩崎 真理子 (35) ＜令和6年4月＞ 学士(薬学)
		食品関係法規
兼任	講師	田村 光司 (60) ＜令和6年4月＞ 農学修士
		工場管理法【隔年】
兼任	講師	村山 伸樹 (71) ＜令和4年4月＞ 医学博士
		医療福祉工学
兼任	講師	山田 佳央 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(保健科学)
		医用工学 ※
兼任	講師	清水 俊 (41) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		人間と哲学
兼任	講師	徳永 洋 (71) ＜令和4年4月＞ 経済学士
		現代の社会と経済
兼任	講師	単 援朝 (68) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		中国語圏の文化と社会 中国語
兼任	講師	辛 教燦 (39) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		韓国語圏の文化と社会 韓国語
兼任	講師	Florian Alexander Axt (44) ＜令和4年4月＞ Area Studies(独国)
		ドイツ語圏の文化と社会 ドイツ語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	黒杭 隆政 (53) ＜令和6年4月＞ 修士(農学)
		発酵工業機器論【隔年】
兼任	講師	宮本 敬久 (63) ＜令和6年4月＞ 農学博士
		食品保蔵学
兼任	講師	岩崎 真理子 (35) ＜令和6年4月＞ 学士(薬学)
		食品関係法規
兼任	講師	田村 光司 (60) ＜令和6年4月＞ 農学修士
		工場管理法【隔年】
兼任	講師	山田 佳央 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(保健科学)
		医用工学 ※
兼任	講師	清水 俊 (41) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		人間と哲学
兼任	講師	単 援朝 (68) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		中国語圏の文化と社会 中国語
兼任	講師	辛 教燦 (39) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		韓国語圏の文化と社会 韓国語
兼任	講師	Florian Alexander Axt (44) ＜令和4年4月＞ Area Studies(独国)
		ドイツ語圏の文化と社会 ドイツ語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Jonathan Donnellan (38) ＜令和5年4月＞ Education(英国)
		イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ
兼任	講師	黒杭 隆政 (54) ＜令和6年4月＞ 修士(農学)
		発酵工業機器論【隔年】
兼任	講師	宮本 敬久 (64) ＜令和6年4月＞ 農学博士
		食品保蔵学
兼任	講師	岩崎 真理子 (36) ＜令和6年4月＞ 学士(薬学)
		食品関係法規
兼任	講師	田村 光司 (61) ＜令和6年4月＞ 農学修士
		工場管理法【隔年】
兼任	講師	山田 佳央 (51) ＜令和5年4月＞ 修士(保健科学)
		医用工学 ※
兼任	講師	清水 俊 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		人間と哲学
兼任	講師	単 援朝 (69) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		中国語圏の文化と社会 中国語
兼任	講師	辛 教燦 (40) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		韓国語圏の文化と社会 韓国語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	FERRERO Yves Pierre (64) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒
		フランス語圏の文化と社会 フランス語
兼任	講師	入部 祐郁 (29) ＜令和4年4月＞ 修士(人間環境学)
		健康スポーツ教育Ⅰ 健康スポーツ教育Ⅱ
兼任	講師	田代 敬大 (68) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		バイオ・化学系の数理Ⅰ
兼任	講師	福島 和洋 (68) ＜令和4年4月＞ 理学博士
		基礎物理学 物理学
兼任	講師	塩入(園部) すみ (60) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		基礎日本語Ⅰ 基礎日本語Ⅱ 基礎日本語Ⅲ 基礎日本語Ⅳ
		與繩 友子 (55) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		基礎日本語Ⅰ 基礎日本語Ⅱ
兼任	講師	道本 ゆう子 (45) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		基礎日本語Ⅲ 基礎日本語Ⅳ
兼任	講師	石村 華代 (47) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		教育原論
兼任	講師	河田 将一 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		特別支援教育論
兼任	講師	西村 陽一 (72) ＜令和6年4月＞ 商学士
		道徳教育指導論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	FERRERO Yves Pierre (64) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒
		フランス語圏の文化と社会 フランス語
兼任	講師	田代 敬大 (69) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		バイオ・化学系の数理Ⅰ
兼任	講師	福島 和洋 (68) ＜令和4年4月＞ 理学博士
		基礎物理学 物理学
兼任	講師	塩入(園部) すみ (60) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		基礎日本語Ⅲ 基礎日本語Ⅳ
		與繩 友子 (55) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		基礎日本語Ⅰ 基礎日本語Ⅱ
兼任	講師	道本 ゆう子 (45) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		基礎日本語Ⅲ 基礎日本語Ⅳ
兼任	講師	河田 将一 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		特別支援教育論
兼任	講師	西村 陽一 (72) ＜令和6年4月＞ 商学士
		道徳教育指導論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	FERRERO Yves Pierre (65) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒
		フランス語圏の文化と社会 フランス語
兼任	講師	福島 和洋 (69) ＜令和4年4月＞ 理学博士
		基礎物理学 物理学
兼任	講師	與繩 友子 (56) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		基礎日本語Ⅰ 基礎日本語Ⅱ
		道本 ゆう子 (46) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		基礎日本語Ⅲ 基礎日本語Ⅳ
兼任	講師	河田 将一 (51) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		特別支援教育論
兼任	講師	西村 陽一 (72) ＜令和6年4月＞ 商学士
		道徳教育指導論

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

<p>【継続雇用】 専任：原島俊、安藤祥司、松本陽子 兼任：町田光男、阪本達也</p> <p>【昇任】 専任：西園（千葉） 祥子（准教授→教授）、笹野佑（准教授→教授）、林修平（助教→准教授） 兼任：園部博範（准教授→教授）、日比野剛士（准教授→教授）、宝来華代子（准教授→教授）、David Bollen（講師→准教授）</p> <p>【兼任から専任に変更】 藤田崇</p> <p>【新規採用】 専任：阿部雄一、江崎加代子、奥村真樹、門岡千尋 兼任：Gougeon Luc、Robert Dykes、Robert Remmerswaal、吉塚治生、徳永憲治、西澤頼孝、村井健太郎、奥田直辰、馬頭亮太、木戸貴弘、原北祥悟</p> <p>【所属学部・学科または本人の都合により担当者変更】 追加：阪本達也、藤城謙一、稲尾誠治、村田由美、久保高明、飯山準一、古閑公治、兒玉成博、小手川耕平、爲近岳夫、永友真紀、松尾崇史、松原誠仁、宮本敬久、森邦昭 削除：中村賢次、熊谷有展、関根浩子、佐藤和歌子、清島浩徳、下城賢一、村山伸樹、入部祐郁、石村華代</p> <p>【退職】 三枝泰之、小川剛、上妻利博、増村雅尚</p> <p>【退職後、兼任講師として雇用】 ・山本康詞</p> <p>【流動的に内容を決定する「特殊講座」について、複数を開講していることから、担当者を追加】 皇合隆成、筒口けん、堀部典子、植村匠、中山泰宗、西見文明、内藤豊</p>

【令和5年度】

<p>【継続雇用】 専任：安藤祥司、宮坂均 兼任：阪本達也</p> <p>【昇任】 専任：太田広人（准教授→教授）</p> <p>【新規採用】 兼任：中尾千智、田代寛之、小島幸治</p> <p>【所属学部・学科または本人の都合により担当者変更】 追加：藤城謙一、尾崎昭剛、Christopher Ott、Oliver Edwards、古賀アリソン、Jonathan Donnellan、山口美澄、荒井久仁子、甲斐隆志、本田啓太、松原慶吾 削除：天本徳浩、Branden Kirchmeyer、Florian Alexander Axt、田代敬大、塩入（園部）すみ、蔵岡（中田）智子、田中均、飯山準一、兒玉成博、松原誠仁</p> <p>【退職】 専任：原島俊、松本陽子 兼任：園部博範、西見文明</p> <p>【退職後、兼任講師として雇用】 町田光男（R5の担当はなしのため削除）</p> <p>【R4報告後の修正】 兼任：西村陽一は、R4年度から担当なしであったが、削除漏れのためR5で削除 R4に追加した兼任：宮本敬久→宮本恵美に修正 R4に新規追加であった兼任：大野正久について、R4で漏れていたためR5で追加</p>

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)」の設置の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
16 名	8 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
14	9	0	1	24	0	21	7	0	2	30	0
(14)	(9)	(0)	(1)	(24)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
20	7	0	2	29	0	20	7	0	2	29	0
[6]	[Δ2]	[0]	[1]	[5]	[0]	[6]	[Δ2]	[0]	[1]	[5]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	2 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{29}{24} = \boxed{120.83} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{2}{30} = \boxed{6.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{24} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	太田 一良	-	-	-	R3. 3. 31付け65歳で定年退職 (4)				
2	教授	進 正志	-	-	-	R4. 3. 31付け65歳で定年退職 (4)				
3	教授	原島 俊	-	-	-	R5. 3. 31付け73歳で定年延長終了で退職 (5)				
4	教授	松本 陽子	-	-	-	R5. 3. 31付け66歳で再雇用終了で退職 (5)				
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
4	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

定年等により退職した専任教員は設置届出時より、授業を担当する計画ではなかったため、計画の履行に影響はない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調査結果 (令和4年度)	・工学部建築学科において、入学定員超過の改善に努めること。	当学科において、令和2年度に入学定員増加（50名から70名に変更）を行うことで、届出時の令和3年度は1.41倍、設置時の令和4年度は1.30倍、令和5年度は1.17倍と改善に至っている（5）。	入試制度改革などにより歩留まりが予想しづらい状況ではあるが、引き続き、合格者の判定には細心の注意を払い、入学定員に応じた適切な入学者管理に務める（5）。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（4）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（5）」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（4）（5）」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（5）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<生物生命学部 生物生命学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜（募集人数：前期 70 名・後期若干名） ・共通テスト利用選抜（募集人数：前期 6 名・中期 4 名・後期若干名） ・一般・共通テスト併用型選抜（募集人数：8 名） ・専願志選抜（募集人数：前期 6 名・後期若干名） 	<p>各入試の募集人数が2023年度より以下のように変更された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜（募集人数：前期 74 名・後期若干名） ・共通テスト利用選抜（募集人数：前期 8 名・後期若干名） ・一般・共通テスト併用型選抜（募集人数：6 名） ・専願志選抜（募集人数：前期 7 名） <p>2023年度より以下の入試区分が追加された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究活動プログレス選抜（募集人数：若干名） <p>研究成果の発表、口頭試問、出願書類により総合的に選考する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究活動アピール選抜 <p>研究成果の発表、口頭試問、出願書類により総合的に選考する。</p> <p>『趣旨等を記載した書類』⑨取得可能な資格の「食生活アドバイザー」を削除する。学科として学生に受験を推奨しており、団体受験機関として認められているが、受験資格は必要ないため。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会の専門委員会としてFD委員会を設置している。 <p>FD委員会は、教務委員会が審議する事項のうち、FDに係る授業内容及び方法の改善、組織的な研修、研究等について検討する。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会は、教務部長が指名した委員長を置き、各学科より選出された委員、事務局長、教務課長および教務部長が必要と認めた者によって構成する。また、委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を会議に参加させることができる。 <p>構成員17人、年間6回の会議を実施した。（令和4年度実績）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDを推進するために、授業アンケートによる授業内容及び方法の改善や、FD講演会の実施など組織的な研修、研究等の実施について審議している。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業実施マニュアル「授業の進め方」の作成・改訂 ・「授業アンケート」に基づく教授方法の改善 ・FD講演会の実施 ・「崇城大学紀要」への教授方法に関する論文の掲載 ・シラバスの点検

b 実施方法

- ・授業実施マニュアル「授業の進め方」を必要に応じ改訂し、新任教員に配布する。
- ・「授業アンケート」は、専任・非常勤を問わず全開講科目を対象に、前後期の学期末にWEBにて実施する。受講生からの評価の高かった科目を担当した教員に「ベストティーチング賞」を授与し、その授業を他の教員が参観する機会を設ける。
- ・FD講演会は、「ベストティーチング賞」を受賞した教員によるもの、授業改善等に関すること、協定大学との合同で実施することなど学内外の識者を講師とし、講演やグループワーク等の形式で開催する。
- ・教育研究に関する論文集として「崇城大学紀要」を毎年発行しており、各分野における教授法や、学生の理解度の調査に関する論文を審査の上で掲載している。FD委員会では、「ベストティーチング賞」を受賞した教員に授業内容や教授方法について執筆を依頼し、査読を経て掲載する。
- ・シラバスの点検は、シラバスが教務委員会が定めた作成要領に則って作成されているか、FD委員を中心に学科内で担当者を決定し各科目のチェックを行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・授業実施マニュアル「授業の進め方」を令和5年3月に改訂し、新任者説明会（4月実施）で配布した。
- ・「授業アンケート」は、全教員、全開講科目を対象に、前期：8月、後期：2月にWEBにて実施した。「ベストティーチング賞」の授業公開は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2.3年度はオンラインで実施していたが、令和4年度は他の教員が参観する公開授業の再設置に移行することにし、令和5年度に実施することとなった。
- ・FD講演会は、「ベストティーチング賞」を受賞した教員による事例報告会、本学着任3年以下の教員を対象とした「本学の目指す教育」に関する講演会、外部講師による「教学マネジメントの概要について」の説明会、また、教育の質保証及び質向上を考えると、学習者の多様な学びを支えるために「教学マネジメントをどのようにデザインするのか」について他大学との連携事業として講演会を実施した。年度末には、翌年度の学生ファシリテーターとファカルティ・デベロッパーと呼ばれる各学科の教員と一緒にグループワーク形式の研修会を行った。講演会や研修会は、年計5回実施し、教員は延べ270名参加した。
- ・「崇城大学紀要」に「ベストティーチング賞」を受賞した7名の教員の授業内容や教授方法について、査読を経て掲載をした。
- ・シラバスの点検について作成要領に則って作成されているか、FD委員を中心に各学科教員でチェックを行った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・授業実施マニュアル「授業の進め方」を閲読することで、教員としての心構えの醸成と授業準備の一助としている。
- ・「授業アンケート」の集計結果を自由記述も含めて担当教員にフィードバックすることで、受講生の生の声を基に自身の教授方法の見直し・改善に繋がれるようにした。
- ・FD講演会等にて、教育に関する様々な情報を提供し、多方面からの授業改善を進めている。
- ・「崇城大学紀要」に「ベストティーチング賞」教員の授業内容や教授方法について掲載し、ホームページにて公表することで各教員が閲覧し、授業改善と新任教員の授業構築支援を行っている。
- ・シラバス点検について、シラバスチェックは、単にシラバスの不備を修正する作業ではなく、他教員が作成したシラバスを閲読することで、自己の担当科目の授業改善に繋げている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施している。実施時期：年2回（前期：8月、後期：2月）

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの集計結果は、学内からのみアクセス可能なサイトにて、全教職員および学生に全科目公表した。

また、アンケートの自由記載欄に学生がコメントをしており、コメントは、学長・副学長・学部長・学科長および各授業担当教員へ配付した。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

生物生命学科は、既設の応用微生物工学科および応用生命科学科の2学科を改組し、その性質を引き継ぎ発展させたものである。学部・学科の特色を明確に示し、学生募集を行った結果、昨年度に引き続き入学者数（令和5年度入学者数：163名）は入学定員（150名）を満たしており、学生の指示を得ていると評価している。今後も教育研究を充実し、ステークホルダーに適切な情報の提供を行う。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年5月31日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和5年5月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和11年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。